



火之神公園一帯をボランティア清掃
 ■4月1日、海上特攻第二艦隊戦没者追悼式を前に、まくらざきハーモニーネットワーク委員会の会員などによる火之神公園一帯のボランティア清掃が行われました。



市内小学校で入学式
 ■4月6日、市内各小学校で入学式が行われました。別府小学校では新1年生20人が元気に入場。保護者や在校生に拍手で迎えられました。



**かつおのビンタ料理で
転入教職員を歓迎**

■4月20日、枕崎中学校PTA主催の転入教職員歓迎会が市内料飲店で行われ、転入してきた7人の先生は、恒例のかつおのビンタ料理を豪快に食べました。



**新1年生が
かつおのぼりを掲揚**

■4月24日、枕崎小学校の新1年生23人が市役所正面玄関前にかつおのぼりを掲揚しました。



**枕崎漁港に注目のパワースポット
～ど根性アコウの木神祠**

枕崎漁港内港にパワースポットが登場しました。その名も「ど根性アコウの木神祠」。もともと市漁協の製氷工場だった建物の屋上約10mのところにアコウの木が生育。雨どいのパイプをつたって側溝まで根を伸ばしました。

発案者は地元タレントのちゃんサネさん。知人が散歩の途中に発見したのを聞き、何か有効活用できないかと考え、この根性にあやかり「ど根性」を発揮してもらおうと神祠の設置を決めました。

神祠の横には「根性発揮の志」を受け付ける投書箱を設置し、投書はフェイスブックなどで発信しています。



**本市出身の加藤勝海さん日本画など151点を展示
～南溟館特別企画展「加藤勝海日本画&水墨画展」**

京都市在住で本市出身の日本画家、加藤勝海さんの回顧展「加藤勝海日本画&水墨画展」が4月15日から5月20日までの期間、南溟館で開催されています。



加藤さんが学生時代に描いた作品から近年のものまで画業40年の集大成として151点を展示しています。

加藤さんは「故郷があるということが制作する力になっている。故郷への感謝でいっぱい」と話していました。

▲加藤勝海さん ■入場料=大人200円、学生以下無料



**最後の追悼式 恒久平和を願う
～海上特攻第二艦隊戦没者追悼式**

戦艦大和をはじめとする第二艦隊戦没者の追悼式が4月7日、平和祈念展望台奉賛会（畠野宏之会長）の主催により、火之神公園内の平和祈念展望台で行われ、全国から遺族や関係者など合わせて約500人が参列し、戦没者への思いを胸に、献花を行い冥福を祈りました。

式では、鹿児島水産高校生徒会長の阿久根真也くん(3年)が「今の平和は、大きな犠牲により築かれた礎のもとにあるという事実を風化させないように、私たちが受け継いでいきます」と祈りの言葉を捧げたほか、自衛隊による慰霊飛行や碑前演奏などが行われました。

追悼式は平成7年から開催していましたが、遺族や関係者の高齢化などを理由に今回で最後となりました。



阿久根真也くん

**中釜幹敬さん水墨画で内閣総理大臣賞を受賞
～第29回日中水墨画合同展**

日本・中国水墨画交流協会主催の全国公募展「第29回日中水墨画合同展」で中釜幹敬さんの作品「発光」が内閣総理大臣賞を受賞しました。この作品は、海中で光るホタルイカを題材にしたもので、審査員からは「一目で観客を虜にしてしまう磁力がある。色彩では表現できない芸術」と好評価を得ました。

11年前から趣味として水墨画をはじめた中釜さんは「水墨画に出会えてよかった。見てもらった人からの感想が生きがい」と話していました。作品は5月まで市役所1階の市民ホールに展示しています。



**水産加工組合が農林水産大臣賞を受賞
～第33回食品産業優良企業等表彰**

財団法人食品産業センターが主催する第33回食品産業優良企業等表彰で枕崎水産加工業協同組合（西村協組合長）が農林水産大臣賞を受賞しました。

同組合は、「枕崎鰹節」の地域団体商標登録や本枯れ節の「本場の本物」への認定など、枕崎を冠とする地域ブランド化の確立を掲げ、地域の活性化を図ってきたほか、かつお節の加工残滓に付加価値を付けることで、かつお節生産者の経営にも大きく貢献していることなどが評価されました。